



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第32回例会(4月6日)
平成30年4月13日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10

会長 飯塚 肇

川徳デパート内

幹事 星 克彦

例会場 同上 TEL 019(651)1111(代)

会報 伴 亨

例会日 毎週金曜日12時30分～

クラブ事務局 TEL 019(653)5682

<http://www.morioka-rc.jp/>

FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー:変化をもたらす'... イアン H.S. ライズリー
盛岡RC会長テーマ —もう一度、奉仕— 飯塚 肇



会員卓話

『わたしの「三丁目の夕日」時代』

(株)岩野商会 代表取締役社長

岩野 法光 君

私は昭和25年1月24日生まれの寅年でございます。「迷信」とよく言われますが、「虚空蔵菩薩が使われたウナギを食べてはいけない」という言い伝えがあり、これを頑に守っています。それはなぜかというと、私の名前は法光(のりみつ)というのですが、私が生まれる前に亡くなった二人の姉(光江・法子)から一字ずつもらって「ふたり分、生きてくれ」という願いを込めて付けられました。父、鉄二は四人兄弟で、字で分かるように次男坊でした。ただ、長男は事情があって、岡山に行き、墓守はうちの父がすることになりました。私はその長男ということで祖母が猫可愛がりをしました。その祖母は非常に信心深い人だったので、当然ウナギを食べさせてもらえなかった。父も寅年だったので、私たちは親子で、まったくウナギを食べさせてもらえませんでした。そういう意味では、割を食ったのはおふくろです。「自分の亭主と孫は食べるができないのに、おまえは食べるのか」ということで、うちは今でもずっと土用の丑の日はありません。私に娘が生まれたときも、寅年だった。さすがに、娘には悪いので、娘はウナギを食べていいことにしています。熊谷祐三さんらと話をしているウナギの話題になったとき、「岩野くんは日本一うまいウナギを食べさせよう」ということになり、「それでは私、ちゃんと食べます」と言ったことを覚えています。

私が生まれた場所は、2月に駒木会員が話して

いましたが、今で言う南大通二丁目。当時は、盛岡市の新穀町。通称「寺の下」という寺町です。盛岡というのは、中津川を挟んで「河北」「河南」と言い、私は河南の下町のお寺のあるところに生まれました。ずらりとお寺が並んでいましたから、小さい頃、日中は良いんですけど、夜になると不気味でした。今では、私の家もバスセンターもなくなりました。私の家は、バスセンターから明治橋までの道路が都市計画道路になったときになりました。久昌寺さんの参道は、今、斜めになっていますが、当時は真直ぐで、真ん前が自宅でした。私の家に向かって6軒ぐらい離れたところが駒木さんの家でした。同じところで育ったということで、盛岡弁では「葬儀屋」と呼ばず、「ガンコ屋さん」と言いました。駒木さんに聞いた記憶があるのですが、「寺の下のガンコ屋さん」と言えば、どの店か、わかったんです。それぐらい、有名なお店でした。お寺ばかりの土地で育ちました。当時、テレビはなかったので、大人はラジオを聞きました。ラジオの音は怖かった。音が混ざって聞こえました。夜、私の家は外に便所がありましたから、怖くて行けず、おねしょをするか、縁側からするか、どっちかでした。

当時、寺町が華やかになる時があった。それは、お盆やお彼岸です。特にお盆はすごいんです。迎え火も焚きますし、提灯なども灯すので、夜中まですごく明るい。私たちが小さい頃には、さん

さ踊りをお盆に町内で踊りました。まちの道路の真ん中に円陣を組んで踊ったんですが、今のさんさ踊りを観ると、違和感を覚えます。伝統さんさを観ると、「これが近い」と思います。昔は、ものすごく激しい踊りだった記憶がございます。

当時はお小遣いのような現金収入はなかったんですが、お盆のときだけ、その地区でアルバイトをさせてくれることがあったんです。皆さん、お墓に拝みに行き、お茶とか持って行くことがあるじゃないですか。お盆の13日から16日の間だけは、町内の子どもにやらせてくれました。それを采配するリーダーがいました。お寺がずっと並んでいますから、「きょうはここ。明日はここ」という訳にはなくて、そのお寺に行ったら、ずっと4日間やらないと、あとで村八分になるという感じでした。そこで初めてお金がもらえました。最初は補助です。後ろのほうについて行って、仕事を覚えます。初めてついて行って、お金をもらうとき、先輩に教えられる訳です。普段は鼻をたらししているような先輩が教えるわけです。「いいか、相手の人は必ずお金のことを聞く。そのとき、何と答えればいいのか、教えるから。」そういう先輩が「お志で結構です。」と言うのです。小学生からそんな言葉は聞いたことがありませんから、ビックリしました。その先輩を、その日から尊敬しましたよ。「どういうことですか？」と聞きました。言葉の意味がわからないからです。10円、5円の金額です。「たまに、そういうことを聞く人がいるけれども、そう言えば、ちゃんと余禄も出てくるから」ということで、先輩についていく。私は、その言葉が言いたくて、言いたくて、たまらない。お墓に行くと、たまにお金について聞く人がいる。お煮染めや果物をお墓にあげる習慣があったんです。今は、いろいろうるさくなってダメみたいですけど。「余禄」というのは、お墓にあげたものを食べていいんです。その場で食べるのではなく、仲間のいるところに食べ物を持って行ってから、食べる。だから、おやつやごはんは、それで全部まかされた。あの頃、バナナなんて普段、食べることがないですからね。大体、病気したときにしか食べることがありませんでした。当時は「バナナって、こんなに美味しいのか」と思いました。仲間にお墓から食べ物を持って行って

も、全部が自分のものではなく、結構な人数の仲間がいたので、バナナでも何でも、墓参りをした人が、自分たちに「あや、感心だごど…」と、くれたものを分けました。早く食べたい。先輩は、それがわかっているから、少し多めにくれる。8人ぐらい並んだかな。先輩は何年かの年数をやっていますから、来たお客さんをいろいろわかっています。三田さんの関係者が来ると、行く。なぜ、そうなのか、わかりません。スキップするような勢いで帰ってくる。当時のお駄賃が10円や5円だったのに、三田先生の関係の人は三桁のお駄賃をくれる。当時の三桁は、天下を取ったようなものですからね。あの頃は100円札でした。

そういうお盆が終わってしまうと、八幡様のお祭りがあるのです。町内から山車が出るのも良いんですけど、八幡様に行って遊ぶのが、秋のひとつの楽しみでした。そのときは、今の比ではないほど、ずらりと夜店が出ていました。サーカスとか、いろいろなものが来ていた。そういうところに寺町の子どもが行くことは知られていて「あいつら、アルバイトをしているから景気が良いはずだ」ということで、八幡界限の人たちは、手ぐすね引いて待っているんです。「食べたい物を、おれにもひとつ、買ってくれ」みたいな感じだった。それが嫌だったから、グループを組んで行く。そうでなければ、いろいろある。

私が小さいとき、祭りに出たことがある。私のうちは紺屋町にある5分団の分団長をやっていたんです。うちの親父も祖父の弟さんも両方、やっていますから、「岩野」という者が2人、写真に写っている。その関係で、町内会で山車が出るときは5分団で出るというのが、岩野家の代々の伝統でございます。みんな、お祭りが好きなんです。私が出るときは、本当に小さい頃は親父が張り切りまして、母親が縫い物をしていたものですから、半纏を含めて全部の装束を母に縫わせたんです。それだけだったら、別に何でもない。私は、歌舞伎役者のように白塗りにされたんです。その頃は、女の子でも鼻筋に白くおしろいを塗るのがせいぜいですよ。それが、すっかり顔中が白塗り。今の下小路中学校を入ったあたりにいらした方のところに行く。半纏を着て、白塗りで歩くんですが、いっしょに歩くお姉さん方も、やっぱり可愛いかな

ら寄ってくる。あの頃は、地方から来た人も含めて沿道で観ていた。そこを歩くと、生姜町のところまで行く間に、腹巻きがパンパンに膨れ上がった。昔は、そこにお金を入れてくれたんです。今となつては「あのお金は、どこにいったのか」と思いますけどね。すごい数でしたよ。あの頃は、芸者さんも人数がいっぱいいました。そういう人たちがお金をくれる訳です。私たち岩野家一族は、半纏の下に着るシャツを全部、芸者さんの手拭で作っていました。正月となると、芸者さんが全員で手拭を配ったんです。同じ名前を入れないようにして、シャツを作ることができた。昼になると、これ見よがしに半纏を脱ぎたがるんですよ。そういう時代でした。景気が良い時代でした。

小学校の頃、盛岡劇場のある場所の角のあたりに駄菓子屋さんを兼ねたタバコ屋さんがありました。八幡のお祭りに誘われて行くと、そこでくじ付のガムを売っているのだから「それを買ってからお祭りに行こう」ということになりました。何人かで買いましたが、私が買い始めたら、はずれくじが出ないんです。残っていたのは14個だったんですが、私が全部、取ったんですよ。回りの人も、中におばさんも驚いて、新しい物を出してきました。そこで2つぐらいは当たったかな。お祭りでみんなに配ったんですが、次の日にはすぐ、町内に話が広まっていた。寄ってきて「岩野、いっしょにガム買いにいぐべ」という人もいた。たまたま当たりくじを引いただけなのに。当時は

1つか2つでも当たれば大変な騒ぎでしたからね。そんな時代でした。

小学校に行くと、私は走るのがダメ、マツト運動ダメという感じで、この年になるまで逆上がりは一回も出来たことはありません。運動会で私といっしょに走る事になると、みんなが喜ぶんです。私がビリと決まっていたから。あの頃、運動会是一等賞になるとノートがもらえたんですね。このテーブルにいる駒木会員は、私が大慈寺小学校に通っている頃、そういう意味でスターでした。足がものすごく速かったんですよ。私より2学年ぐらい下でしたが、ものすごく有名で、たぶん小学校時代の駒木会員はノートを買ったことがなかったんじゃないでしょうか。徒競走に出ると1位で、リレーに出ても1位だったから。私が小学生の頃は、招待リレーというものがあつたんです。各学校からやって来て、運動会の当日に走るというリレーだったんですが、常に駒木会員は出ていました。市内からの人たちといっしょに走りますから、いつも優勝という訳にはいきませんでした。そういうスターでした。彼が一高で甲子園に行ったときは、急にみんなも先輩風を吹かせましたね。「あいつは、小学校の頃の後輩だ」「いっしょに遊んだ奴だ」と言っていたことを覚えています。

そういう、いろいろな思い出があるのが、私の時代の「三丁目の夕日」です。続編はまた、機会があればしたいと思います。きょうは、どうもありがとうございました。

高田松原植樹祭に参加して

社会奉仕委員会委員長 工藤 幸一

今年度 RI 会長イアン H.S. ライズリー氏が 2018 年 4 月 22 日に計画されている「アースデイ」までに、世界中のロータリアンに総会員数に匹敵する 120 万本の木を植えることを求めていることを受け、当クラブでは陸前高田 RC、大船渡西 RC と合同で、平成 30 年第一回「高田松原再生植樹祭」に参加して参りました。(参加者 17 名)

4 月 8 日(日)7 時にマリオスを出発し、9 時に受付を済ませた後、防潮堤を超えて植樹場所に到着。参加の皆さんは長靴に履き替え現地へ、自社の作業着の方もおられました。

作業自体は、決められた杭のある場所に穴を掘り、2 年物の松の苗木を植え、地面を整え、肥料を施し、置き水をかけ、防風柵で囲うという作業でした。

前日までの雨のため、植樹場所はぬかるんだ場所が多く、足がなかなか抜けない状態も楽しみながらの作業となりました。取材のマスコミの方もおり、ニュース等でご覧になった方もおられるかと思いますが、同じように足を取られて苦労されていました。

植樹後は、キャピタルホテル 1000 にて、陸前高田 RC との合同昼食会が開催され、支援金の贈呈が行われました。復興にかかわった会員も多く、陸前高田 RC との交流が深まったと思われます。

その後、「奇跡の一本松」を視察し、この松の木を守り保存されることとなった、ユースホステルの設計者である小川惇会員より建築当時のお話を語っていただきました。

事前の打合わせ等で、星克彦幹事、藤村吉隆次年度幹事をはじめ、協力・参加いただいた会員の皆様ありがとうございました。



【訃報】鈴木貞雄特別名誉会員におかれましては平成 30 年 4 月 5 日午前 9 時ご逝去されました。謹んでお知らせいたします。

例会報告

第 32 回例会
平成 30 年 4 月 6 日(金)

12 時 30 分 開会点鐘

- ・司会 飯塚 肇会長
- ・ロータリーソング (奉仕の理想)
- ・ゲスト タンバンペンストン シラナットさん(米山記念奨学生)
- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・新入会員紹介 下道利幸会員 (行政書士法人リプル法務盛岡事務所 所長) 紹介者: 金沢 滋会員
- ・皆出席バッチ 田中堯史君 (30 年)・駒木 進君 (23 年)・吉江信博君 (8 年)・畠山将樹君 (2 年)・荒川鉄平君 (2 年)

- ・入会祝 田中堯史・吉田幸一・駒木 進・吉江信博・星 克彦・塚田幸志・三田光男・畠山将樹・荒川鉄平・土屋克之君
- ・誕生祝 吉江信博・星 克彦・畠山将樹・佐藤仁志君
- ・結婚祝 荻野忠良・熊谷祐三・掛上智章君
- ・幹事報告 星 克彦幹事 終了後理事会開催

18:30~鈴徳。5 月 1 日(火)は、特別休会。

【ニコニコ BOX】

◆佐藤仁志君…岩手公園下の新岩手教育会館が昨日竣工しました。小川バスターガバナーには前の会館に続き今回の建物についても設計をしていただきました。市民の皆様にも愛される会館になることを期待してニコニコします。

◆金沢 滋君…下道さんという新しいお仲間をご紹介できてニコニコです。もうじき桜も咲きます。今日、明日は入学式も盛りです。新しい気持ちでいきましょう!!

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北 R.C. = 4 月 25 日(水)は、観桜会開催のため時間変更。5 月 2 日(水)は、特別休会。
- 盛岡南 R.C. = 4 月 30 日(火)は、通常夜例会 観桜会開催のため

※前号 (第 31 回例会) の原稿に誤りがありましたので訂正致します (1 ページ右段下から 9 行目) 「刃を下(誤)」→「刃を上(正)」

出席報告 会員数/74名 | 出席数/51名 | 出席率/74.29% | 前々回/休会

プログラムのお知らせ

- ・4 月 13 日(金) ゲスト卓話 フードバンク岩手
- 20 日(金) 新入会員卓話 片桐宗雄会員
- 26 日(木) 観桜会 (27 日例会変更)

●本号編集担当 / 千葉 隆史